

RICOH

Visual Communication

デジタルサイネージ

お客様導入事例



デジタルサイネージ×LEDビジョンで太陽光に負けないダイナミックな

情報発信を展開。開放感のある透過性に優れた大画面から、

多様な情報を発信し、学内外の情報交流を活性化。

学校法人 東北工業大学 様

■ご導入機種：リコーデジタルサイネージクラウドサービス
および RDS SH BOX* × 1

■ご導入拠点：学校法人 東北工業大学

Company Profile

■URL：http://www.tohtech.ac.jp

*Avix社製 GLASS VISION (W3,520mm × H1,920mm 約160インチ)



学校法人 東北工業大学
入試広報課
課長
藤原 政洋 様

より良い社会の実現を見据え、人間・環境を重視した工学と建築学、ライフデザイン学を探究する東北工業大学様。1964年の開学以来、仙台から全国へ、特に東北地方へ、地域社会で先導的役割を果たす技術者、クリエイター、ビジネスパーソンなどを数多く送り出されています。東北工業大学様では、専門性の高い工業大学にふさわしい、先進的でインパクトのある情報発信ツールとして、リコーのデジタルサイネージを活用されています。ガラス張りのキャンパス壁面に、太陽光に負けない明るさをもつ約160インチの大型LEDビジョンを設置。周囲の景観と調和した外観の印象、自然光の差し込む内観の開放感はそのままだに、ダイナミックな情報発信を実現されています。配信コンテンツは、大学紹介の動画から、学生の作品、卒入学式のメッセージまで多岐に渡ります。学内はもちろん、地域の皆様にも大学の多様な取り組みをリアルタイムにお届けできるようになり、校内における情報交流の活性化や大学と地域の連携促進につながっています。

導入前の課題

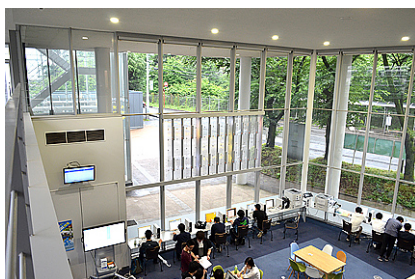
- 工業大学にふさわしい先進的でインパクトのある情報発信が行いたかった。
- 昼間も画面が見やすい視認性と、高い訴求力を求めていた。
- キャンパスの開放感が維持できる大画面ディスプレイを探していた。
- 情報更新にかかる手間を削減したかった。

導入後の効果

- ❗ デジタルサイネージ×LEDビジョンでダイナミックな情報発信を実現した。
- ❗ 太陽光に負けない大型ビジョンで、大学内外へ動きのあるコンテンツを効果的に発信できるようになった。
- ❗ 透過性に優れたLEDパネルにより、大画面のインパクトと空間の開放感を両立した。
- ❗ 事務所から手軽にタイムリーな情報更新を行えるようになった。



昼間でも画面が見やすいLEDビジョンを、ガラス張りの壁面に設置されています。



LEDビジョンの裏側の様子。透過性に優れているため自然光が差しこみ、室内の開放感が保たれています。

デジタルサイネージの導入を検討された背景を教えてください。

学内外に向けた情報発信を強化するため、正門周辺に新しいツールを設置したいと考えていました。ツールに求めた条件は、太陽光が差し込む場所でも画面が見やすくインパクトがあり、更新が手軽であること。さらに本学は工業大学ですので、そのイメージに合う先進性、新鮮さも不可欠な要素でした。これらの条件を満たすツールを探している時に、リコーからLEDビジョンを使ったデジタルサイネージをご提案いただき、これは面白そうだと感じました。

リコーの提案を採用いただいた決め手を教えてください。

デジタルサイネージと合わせて、最適な表示装置の選定から設置、運用方法まで、トータルなご提案をいただけたことです。リコーのデジタルサイネージは、液晶でもLEDでも幅広い表示装置と互換性があり、本学の要望を伝えたところ、LEDビジョンをご提案いただきました。太陽光に負けない明るさで昼間も画面が見やすいことに加え、パネルに透過性があり、大画面のインパクトと空間の開放感を両立できることが、導入を決定したポイントです。また、リコーのデジタルサイネージはインターネットを用いるため、システム構築が不要。その分コストが抑えられている点も決め手となりました。

具体的な設置場所を教えてください。

八木山キャンパスの正門を入ってすぐ、大学敷地外からも見える1号館のガラス張りの壁面に、約160インチのLEDビジョンを設置しています。キャンパス全体が開放感あふれる設計となっており、1号館エントランスは学生が自由に交流する「tohtech LOUNGE」となっています。大画面を設置するにあたり、建築デザインへの影響を心配したのですが、透過性に優れたLEDビジョンを用いたことで、周囲の景観と調和した外観の印象、自然光の差し込む内観の心地よさはそのままに、ダイナミックな情報発信ができるようになりました。LEDならではの太陽光に負けない明るさにより、昼間も高い視認性が保たれています。

配信しているコンテンツ例を教えてください。

- ・ 卒入学式、オープンキャンパス時のメッセージ
- ・ TVコマーシャル
- ・ 学生が制作した動画作品
- ・ 東北工業大学が配信するラジオ番組の紹介
- ・ 校内施設の紹介
- ・ 部活動の試合情報
- ・ 校内イベントの案内

卒入学式での活用について教えてください。

例年、卒入学式に配布する紙袋のデザインは学生から募っています。今年は採用が決まったデザインのモチーフを、デジタルサイネージのコンテンツとしても展開しました。統一感のある演出で、卒業生や新1年生に向けてお祝いのメッセージを配信。LEDビジョンの前で、家族や友人と記念撮影を行う姿が見られました。

日々の運営はどのように行われていますか？ 使われた感想と合わせて教えてください。

入試広報課を中心に運営しており、オリジナルコンテンツの作成には、PowerPoint®を使用しています。コンテンツの作成から、アップロード、番組表の管理まで、一連の操作が簡単なので助かっています。導入時にリコーから基本的な使い方を教えてもらい、当初は私が担当していたのですが、操作方法が分かりやすいので、現在は新卒の職員に任せています。入試広報課だけではなく、他の課からも柔軟に情報発信ができるよう、各課のフォルダ、パスワードを用意し、適宜コンテンツのアップ、配信ができる体制を整えています。

導入後の変化、効果を教えてください。

当初思い描いていたとおり、大学内外に向けてダイナミックな情報発信が図れるようになりました。紙の看板を屋外に設置する場合には、まず印刷してビニールで雨避けもつくる必要もありますが、クラウド型のデジタルサイネージなら、デスクから情報更新が可能。タイムリーな情報を手軽に発信できるようになりました。デジタルサイネージならではのインパクトのあるアプローチは訴求力が高く、学生や教職員からは設置してすぐに「面白いものが導入された！」という反響がありました。学生からは、LEDビジョンの透明感や、配信したコンテンツについて問い合わせがあり、導入の効果を実感しています。地域社会に対しては、これまで学内の広報に留まっていた本学の多様な取り組みを、広く発信できるようになりました。コンテンツを見てお問合せいただくこともあるので、デジタルサイネージの活用が、地域社会との連携促進につながっているように感じます。

今後について教えてください。

入試広報課としては、卒入学式に留まらない大学行事での効果的な活用を検討しています。例えば秋の大学祭ではぜひ使ってみたいですね。また、入試広報課以外の課でも積極的な活用を促進したり、学部の先生方にもご協力いただくなどして、さらなる情報発信の強化につなげていけたらと思っています。



大学内外に向けて、学校案内を始めとする多様な情報を効果的に発信されています。



学生が制作した動画作品を、大型ビジョンでダイナミックに紹介しています。

リコーデジタルサイネージ

3大選定ポイント



- ①最適な表示装置の選定・設置を含むトータルな提案。
- ②システム構築が不要で導入コストがリーズナブル。
- ③クラウド型のため手軽にタイムリーな情報発信が可能。

お客様導入事例をWEBサイトでご紹介しています。

<http://www.ricoh.co.jp/signage/case.html>

リコーのデジタルサイネージ

<http://www.ricoh.co.jp/signage/>



本レポートは、リコーが提供する新しいクラウドサービスである RICOH Clickable Paper サービスに対応しています。

スマートフォン/タブレット端末用アプリケーション「RICOH CP Clicker」(無料)をダウンロードし、ページを撮影(クリック)すると、関連情報のあるインターネット上のサイトがご覧いただけます。
www.ricoh.co.jp/software/other/clickablepaper/

RICOH
imagine. change.

リコージャパン株式会社

お問い合わせ・ご用命は

<http://www.ricoh.co.jp>